

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターラブアリス函館若松		
○保護者評価実施期間	R6年10月1日		～ R6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	R6年12月1日		～ R7年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様との連携やコミュニケーションが充実しています。	困り感に関して保護者様から相談があれば、困り感を軽減するための取り組みをご家庭や、各関係機関とも連携し協力して支援を行っています。	療育方針を各関係機関やご家族との関わりの中でうまく活用し、子ども達や保護者様の持つ困り感を、共有、実践、解決または軽減できるよう連携し支援を進められるようにしていきます。
2	充実した活動プログラムの構築が出来ている。	アセスメントツールを使用し評価をしたり、行動分析をし結果を話し合いプログラムを立てて、個々にあった支援を提供しています。	さらに活動プログラムの充実を図るための職員間での研修会等を実施し職員のさらなる支援技術向上を目指していきます。
3	送迎時の急な変更等、予定とは異なった場合でも柔軟に対応できるよう、職員間及び保護者の方としっかり連携できるような情報を共有しあっています。	保護者の方よりお子様の状態について詳細に連携を取ってもらっている。また施設でも気が付いたことは、速やかに保護者の方へ共有するようにしています。	より、職員間及び保護者の方と連携できるよう、ICTを上手に活用していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	看護師、PT、OT、ST、医療系スタッフが勤務しておりません。そのため医療的ケアが必要なお子様の受け入れはできません。	医療系スタッフが在籍していない為	今後必要になった時は医療系スタッフの雇用を検討します。
2	親御さん同士の関わりが少ない。	コロナウイルスの影響もあり茶話会の開催もできていなかった。	茶話会という発想だけではなく、親子の関わりが持てるレクリエーション活動や、親御さんへの勉強会等を企画していければと考えている。
3			